

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	保健体育	科目	体育B	学年	2年次	単位数	2単位	
教科書	大修館 現代高等保健体育		副教材	大修館 アクティブsports2025 総合版				
レポート 添削指導	6通	スクーリング 面接指導	8回	メディア 視聴票	4通	試験	2回	
指導 目標	<p>○運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>							
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア NHK高校講座 (ラジオ第20・Eテレ▽)		
1	4月12日	5月31日	○運動・スポーツの学び方 ○サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツにおける技能と体力 ○ スポーツにおける技術と戦術 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツルールはなぜ変わるのか ・スポーツとメディアの関係性 ○ 技能の上達過程と練習 <ul style="list-style-type: none"> ・球技における戦術の特徴 ・ゲームにおける戦術的判断 ○ 効果的な動きのメカニズム <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツと脳 ・動きと力 ○ サッカーのルール・基本技能 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○18 現代の感染症とその予防 ○19 スポーツにおける技能と体力 ○20 技能の上達過程と効果的な動きのメカニズム ○21 体力トレーニングと運動やスポーツにおける安全の確保 ○22 事故の現状と発生要因 ▽4 水泳 	3	
2	5月31日	11月15日	○運動・スポーツの学び方 ○テニス・ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力トレーニング ○ 運動やスポーツでの安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツによるリスク ・スポーツ外傷・障害 ・健康づくりのための運動の実践 ○ テニス・ソフトテニスのルール・基本技能 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○23 安全な社会の形成 ○24 交通安全 ○25 応急手当の意義と日常的な応急手当 ○26 心肺蘇生 ○27 生涯スポーツの見方・考え方とライフスタイルに応じたスポーツ ○28 スポーツを推進する取り組み ○29 スポーツ環境 ▽9 現代的なリズムダンス 	3	
学習の成果に係る評価規準								
【知識・技能】								
<p>○体育理論・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>○サッカーでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>○テニス・ソフトテニスでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</p>								
【思考力・判断力・表現力】								
<p>○体育理論・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>○実技・・・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p>								
【主体的に学習に取り組む態度】								
<p>○体育理論・生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなど、健康・安全を確保している。</p> <p>○実技・・・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>								
<p>○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。</p> <p>○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。</p>								
単位の修得の認定に関する基準								
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。								